



クライアント 操作マニュアル

C00-04 リスト集計表画面

株式会社 エヌジェーケー

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社エヌジェーケーにあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されています。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のもも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社エヌジェーケーの登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

マニュアルの表記	C00-04_0
1.リスト集計について	C00-04_1
2.表組み画面	C00-04_2
2-1 基本操作	C00-04_3
2-2 特殊な画面構成要素.....	C00-04_5
◆階層項目の設定.....	C00-04_5
◆計算式の追加.....	C00-04_6
3.リスト集計表画面	C00-04_8
3-1 画面について.....	C00-04_9
◆リスト集計表の画面構成.....	C00-04_9
集計表の「デザイン設定」について	C00-04_10
「集計表内訳表示」について.....	C00-04_11
◆データリスト表の画面構成.....	C00-04_12
3-2 主な機能.....	C00-04_13
◆データセクター	C00-04_13
◆条件集約	C00-04_17
◆対比計算	C00-04_18
◆条件付き書式	C00-04_20
◆ランキング(順位)	C00-04_22
◆参照項目設定.....	C00-04_23
◆印刷/データ出力.....	C00-04_24

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール
DataNature Smart クライアント :DN クライアント
DataNature Smart Personal :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス
<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

◆ マニュアルで使用している画像について

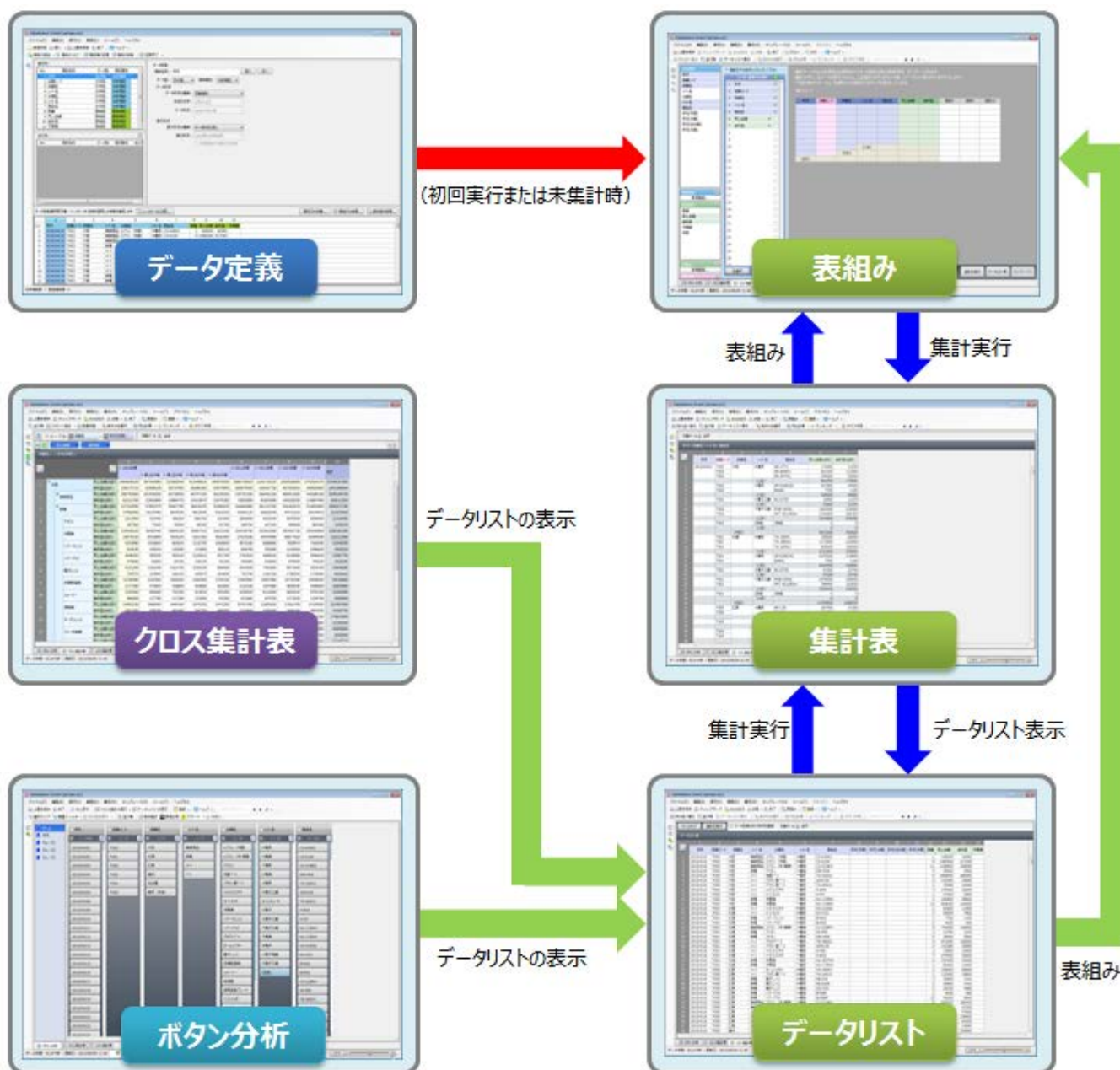
マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

◆ 機能について

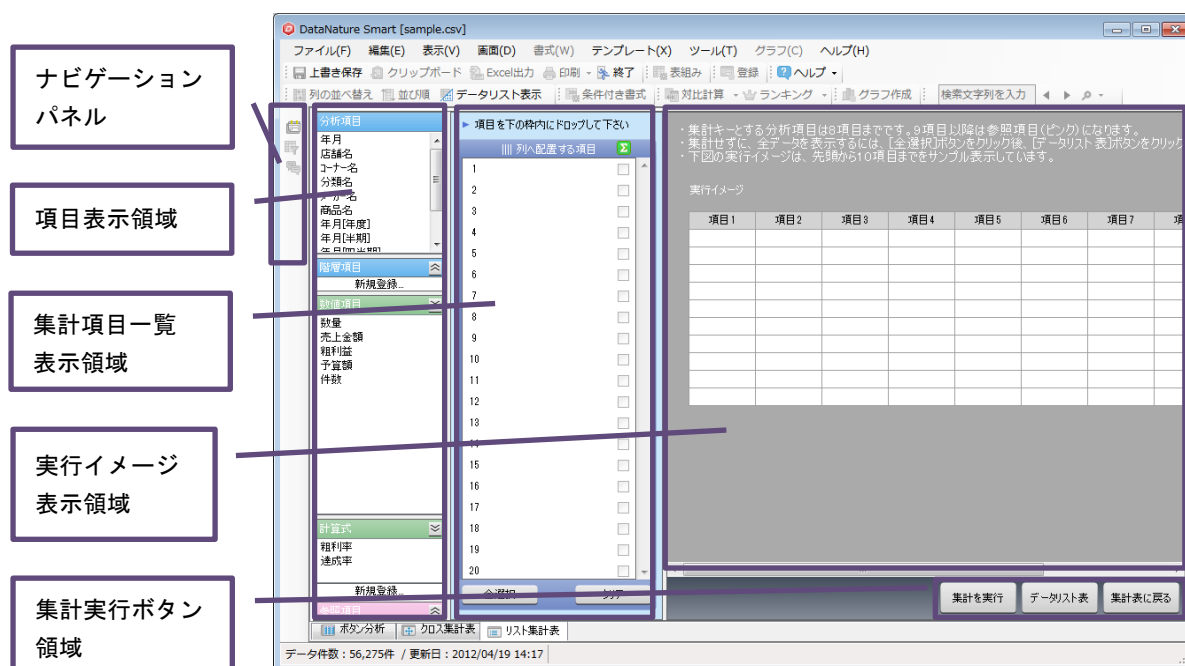
導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

1. リスト集計について

リスト集計は、集計表の構成要素を組み立てる「表組み」、集計した結果を表示する「集計表」、データ全体やボタン分析画面などで選択したデータをレコード表示する「データリスト」の3つの画面で構成されています。画面の遷移は下記の通りです。



2. 表組み画面



表組み画面は、次の要素で構成されています。

■ ナビゲーションパネル

画面操作をサポートする機能アイコンが並んでいます。リスト集計画面の表組みでは、「テンプレート一覧」と「データセレクト」を利用できます。

■ 項目表示領域

集計表の構成要素となる「分析項目」、「階層項目」、「数値項目」、「計算式」、「参照項目」の一覧が表示されます。項目を集計項目一覧表示領域にドラッグ＆ドロップして表を組み立てます。

■ 表構成情報指定領域

[列に配置する項目]に、項目表示領域からドラッグ＆ドロップした項目を表示します。

■ 実行イメージ表示領域

先頭列から10項目までの集計イメージを表示します。参照のみで操作はできません。

■ 集計実行ボタン領域

集計の実行やデータリストの表示を行います。

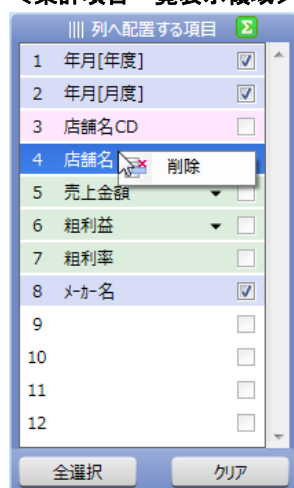
2-1 基本操作

データ定義画面のツールバー[定義完了]のドロップダウンリストから[リスト集計]を選択した場合には、この表組み画面で集計表の構成要素を組み立てます。また、リスト集計表から表組み画面に戻って、構成要素を変更することもできます。

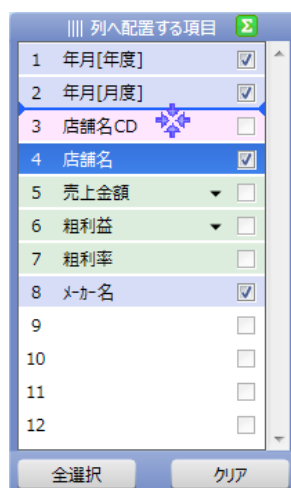
- ① [分析項目]、[階層項目]、[数値項目]、[計算式]、[参照項目]一覧から、集計表に配置する項目を[列へ配置する項目]にドラッグ&ドロップします。



＜集計項目一覧表示領域＞



■項目を対象から外す
項目の上で右クリックして[削除]するか、元の一覧ヘドレッジ&ドロップします。一括で外す場合は[クリア]ボタンをクリックします。



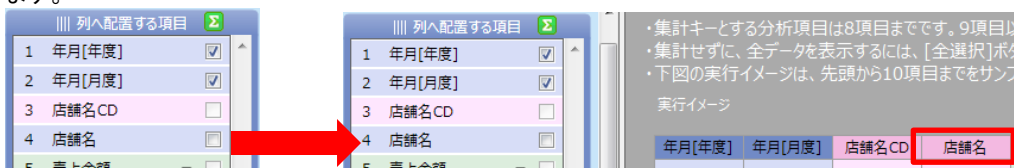
■項目の並び順を変更する
対象項目をドラッグして、配置する位置に青線が表示されたらドロップします。



■集計方法の設定
数値項目の横に表示される
[▼]ドロップダウンリストから、
集計方法を設定できます。
※リスト集計表画面に移った
後に調整することもできます。

■分析項目の属性を参照項目に変更する場合

分析項目（水色）の右側にあるチェックボックスをチェックオフすると、実行イメージ領域の色が参照項目（ピンク色）になります。



- 2 実行イメージ表示領域で、先頭から10項目（列）までのイメージを確認できます。集計キーとなる分析項目（水色）は8項目までで、それ以降は自動的に参照項目となり、集計の対象から外れます。

- ・集計キーとする分析項目は8項目までです。9項目以降は参照項目（ピンク）になります。
- ・集計せずに、全データを表示するには、[全選択]ボタンをクリック後、[データリスト表]ボタンをクリックします。
- ・下図の実行イメージは、先頭から10項目までをサンプル表示しています。

実行イメージ

年月[年度]	年月[月度]	店名CD	店名	売上金額	粗利益	粗利率	メーカー名	項目9	項目10
			(小計)						
			(中計)						
			(合計)						

- 3 表組みの設定が完了したら、[集計を実行]ボタン、もしくは[データリスト表]ボタンをクリックします。

▼集計が実行されて、リスト集計画面に遷移します。

対象データ ≡ 全件

年月[年度]> 年月[月度]> 店名CD> メーカー名

1	2	3	4	5	6	7	8
年月[年度]	年月[月度]	店名CD	店名	売上金額(合計)	粗利益(合計)	粗利率(計算式)	メーカー名
1	2011年度	4月度	T005	42,204	8,537	20.2%	M電気
2			T005	16,541	1,510	9.1%	A電気
3			T005	45,251	8,940	19.8%	T電気
4			T005	524	133	25.3%	N電子工業
5			T005	5,757	830	14.4%	P電子工業
6			T005	24,574	4,375	17.8%	D電機
7			T005	13,035	2,418	18.5%	H電機
8			T005	402	27	6.7%	S電子工業
9			T005	2,883	192	6.7%	G電子
10			T005				(空欄)
11			(小計)	151,171	26,961	17.8%	
12			T004	17,698	3,473	19.6%	M電気
13			T004	22,913	1,979	8.6%	A電気
14			T004	25,336	4,637	18.3%	T電気
15			T004	1,553	389	25.0%	N電子工業
16			T004	9,684	1,424	14.7%	P電子工業
17			T004	19,224	3,488	18.1%	D電機
18			T004	16,301	3,126	19.2%	H電機
19			T004	626	42	6.7%	S電子工業
20			T004	1,124	75	6.7%	G電子
21			T004				(空欄)
22			(小計)	114,458	18,632	16.3%	
23			T003	18,745	3,660	19.5%	M電気
24			T003	18,336	1,656	9.0%	A電気
25			T003	24,627	4,591	18.6%	T電気
26			T003	1,553	389	25.0%	N電子工業
27			T003	6,628	1,027	15.5%	P電子工業
28			T003	20,000	3,702	18.5%	D電機
29			T003	16,170	3,094	19.1%	H電機
30			T003	1,994	133	6.7%	G電子

▼データリストを表示します。

オールクリア 集計を実行 データ定義の日付形式を適用 対象データ ≡ 全件

データリスト表

1	2	3	4	5	6	7
年月[年度]	年月[月度]	店名CD	店名	売上金額	粗利益	メーカー名
1			T005	67,200	12,480	M電気
2			T004	179,200	33,280	M電気
3			T004	123,200	22,880	M電気
4			T004	212,800	39,520	M電気
5			T003	179,200	33,280	M電気
6			T000	123,200	22,880	M電気
7			T003	123,200	22,880	M電気
8			T005	134,400	24,960	M電気
9			T005	7,220	1,805	M電気
10			T003	212,800	39,520	M電気
11			T003	151,620	37,905	M電気
12			T000	108,300	27,075	M電気
13			T003	79,420	19,855	M電気
14			T001	190,400	35,360	M電気
15			T004	115,520	29,880	M電気
16			T001	179,200	33,280	M電気
17			T005	72,200	18,050	M電気
18			T000	115,520	28,880	M電気
19			T000	11,200	2,080	M電気
20			T001	212,800	39,520	M電気
21			T005	112,000	20,800	M電気
22			T001	137,180	34,295	M電気
23			T003	11,200	2,080	M電気
24			T002	72,200	18,050	M電気
25			T004	179,200	33,280	M電気
26			T001	123,200	22,880	M電気
27			T004	212,800	39,520	M電気
28			T000	108,300	27,075	M電気
29			T003	268,800	49,920	M電気
30			T003	168,000	31,200	M電気

2-2 特殊な画面構成要素

リスト集計表の構成要素を組み立てます。

構成要素一覧

分析項目	文字属性の項目を一覧表示します。【例】店舗名・商品名 自動日付/自動時間項目： データファイルの日付型/時間型データを基に日付期間項目や時間項目を自動生成して表示します。【例】年度・半期・四半期・時・分・AM/PM ※なお、[表示]-[日付オプションの設定]で表示される[日付オプションの設定]ダイアログボックスの[自動日付/時間項目]タブで、自動日付/時間項目を一覧に表示するかどうか、表示する場合の種類の種類を設定できます。
階層項目	C00-04_5 「◆階層項目の設定」を参照ください。
数値項目	数値項目属性の項目を一覧表示します。【例】売上金額・数量
計算式	C00-04_6 「◆計算式の追加」を参照ください。
参照項目	データ定義画面で参照項目として設定したデータを一覧表示します。

◆ 階層項目の設定

使用頻度の高い階層構造を定義し、表の構成要素の一つとして登録しておきます。

- ① [階層項目]一覧の[新規登録]ボタンをクリックします。

▼[階層項目の定義]ダイアログボックスが表示されます。

階層項目の定義

項目一覧:

- 年月
- 店舗名CD
- 店舗名
- コーナー名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名
- 年月[年度]
- 年月[半期]
- 年月[四半期]
- 年月[月度]

階層名称:

階層定義:

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

右の枠内へドロップ

新規 一覧へ反映

階層定義一覧:

No.	階層名称	階層定義

削除 OK キャンセル

- ② [階層名称:]欄に、任意の名称を入力します。

- ③ [項目一覧:]欄から、階層にする項目を選択して、[階層定義:]欄にドラッグ&ドロップします。[Ctrl]キーや[Shift]キーを押しながら選択すると、複数の項目を同時に選択できます。最大8階層まで設定できます。

階層項目の定義

項目一覧:

- 店舗名CD
- 店舗名
- コーナー名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名
- 年月[年度]
- 年月[半期]
- 年月[四半期]
- 年月[月度]
- 年月[週/年]

階層名称: 年階層

階層定義:

- 1 年月[年度]
- 2 年月[半期]
- 3 年月[月度]
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

右の枠内へドロップ

新規 一覧へ反映

- 4 [一覧へ反映]ボタンをクリックします。
▼[階層定義一覧:]に内容が表示されます。

No.	階層名称	階層定義
1	年階層	年月[年度] >> 年月[半期] >> 年月[月度]

- 5 [OK]ボタンをクリックします。
▼[階層項目]に設定した階層名称が表示されます。

◆ 計算式の追加

数値項目を四則計算等で計算し、その結果を新しい数値項目として追加します。最大 16 個まで追加できます。

- 1 [計算式]一覧の[新規登録]ボタンをクリックします。
▼[計算式の追加]ダイアログボックスが表示されます。

- 2 [表示名称]欄に、任意の名称を入力します。

- 3 [計算式]欄に、計算式を入力します。

- 計算式に利用できる数値項目(記号や項目名称)
 - 優先演算子(括弧)
 - 組み込み関数
 - テンキー(数字)
 - 四則演算子
- これらを利用して計算式を設定します。

▼[計算式]欄に計算式が表示されます。

計算式の追加

計算式一覧:

No.	表示名称	計算式
1	達成率	["売上金額"]/["予算額"]
2		
3		
4		
5		
6		

数値項目(記号:名称):

N1:数量
N2:売上金額
N3:粗利益
N4:予算額
N7:件数
N8:行セル数
N9:列セル数

() 7 8 9 /
4 5 6 *
1 2 3 -
関数挿入 0 . +

計算例
売上金額の5%を整数以下切り捨てた値を求める計算式
> TRUNC(["売上金額"]*0.05,0)

※数値項目は、記号または名称を[]で囲んで指定

OK キャンセル

4

[OK]ボタンをクリックします。

▼[計算式]に設定した表示名称が表示されます。

計算式

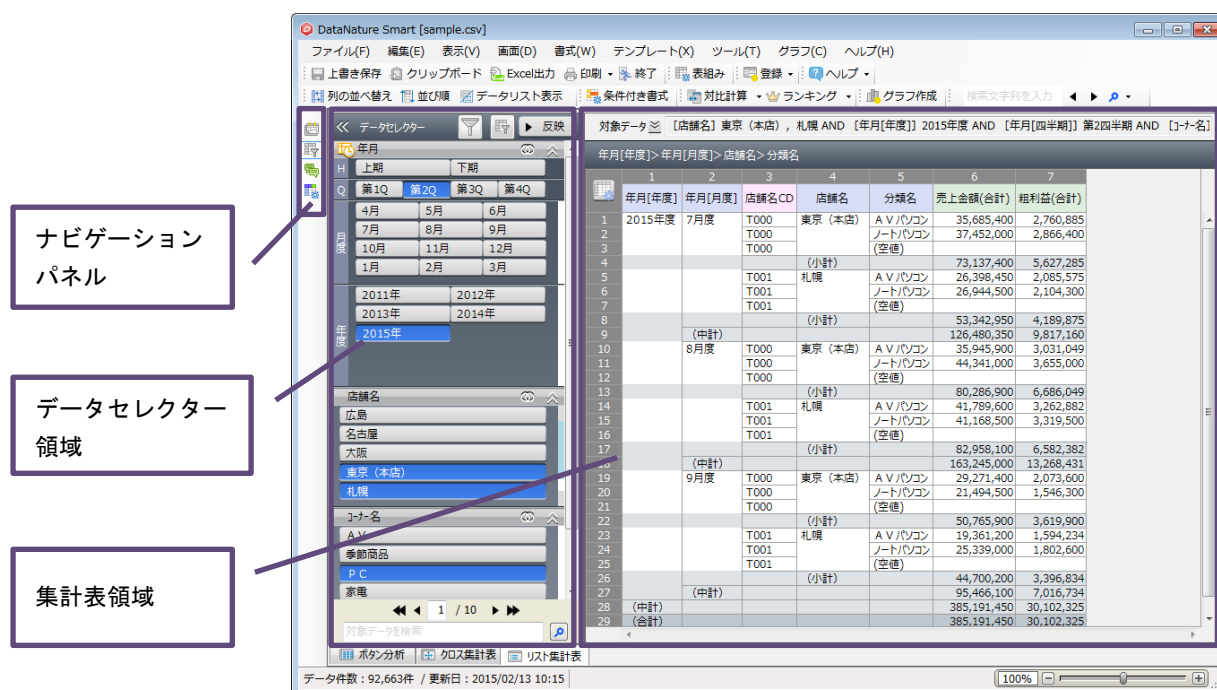
達成率

新規登録...



[計算式の追加]は集計表画面でも設定できます。但し、集計表画面で追加した計算式は、集計表に表示する操作が必要です。(メニューバー[表示]-[集計数値の表示設定])

3. リスト集計表画面



リスト集計表画面は、次の要素で構成されます。

■ ナビゲーションパネル

画面操作をサポートする機能アイコンが並んでいます。リスト集計表画面では、「テンプレート一覧」「データセクター」「コメント」「デザイン設定」を利用できます。

■ データセクター領域

集計表の集計対象データを絞り込むための簡易ボタン画面を設定し、選択したボタンで再集計を行います。また、条件式を設定し、集計表の対象レコードを絞り込むことができます。

■ 集計表領域

リスト集計表やデータリスト表を表示します。

3-1 画面について

リスト集計表とデータリスト表の2画面があります。

◆ リスト集計表の画面構成

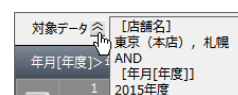
リスト集計の表組みやデータリストから集計を実行して表示される画面です。

① 対象データ表示領域
② 表題領域/単位表示領域
③ 列項目セル領域
④ 集計値セル領域

1	2	3	4	5	6
年月[年度]	年月[月度]	店舗名CD	店舗名	分類名	売上金額(合計)
2015年度	7月度	T000	東京 (本店)	A V/パソコン	35,685,400
		T000		ノート/パソコン	37,452,000
		T000		(空値)	
			(小計)		73,137,400
		T001	札幌	A V/パソコン	26,398,450
		T001		ノート/パソコン	26,944,500
		T001		(空値)	
			(小計)		53,342,950
		(中計)			126,480,350

①対象データ表示領域

集計対象データを表示します。情報が長い場合は、 ボタンをクリックすることで表示領域が広がります。



②表題領域/単位表示領域

表題が表示されます。この領域②で右クリックして表示される[表題の設定]ダイアログボックスで任意の表題を設定できます(メニューバー[書式]-[表題の設定])。



<今月><今日>といった定義をおこなうと、システム日付から該当日付に変換して表題に表示できます。数値項目の単位調整を行っている場合は、右端に単位が表示されます。

③列項目セル領域

列項目を表示します。

列項目セル領域③で右クリックして表示されるコンテキストメニューから[ウィンドウ枠の固定]や[列幅標準/列幅自動調整]などが行えます。

1	2	3	4	5	6
年月[年度]	年月[月度]	店舗名CD	店舗名	分類名	売上金額(合計)
2015年度	7月度	T000	東京 (本店)	A V/パソコン	35,685,400
		T000		ノート/パソコン	37,452,000
		T000		(空値)	
			(小計)		73,137,400
		T001	札幌	A V/パソコン	26,398,450
		T001		ノート/パソコン	26,944,500
		T001		(空値)	
			(小計)		53,342,950
		(中計)			126,480,350
	8月度	T000	東京 (本店)	A V/パソコン	35,945,900
		T000		ノート/パソコン	44,341,000
		T000		(空値)	
			(小計)		80,286,900
		T001	札幌	A V/パソコン	41,789,600
		T001		ノート/パソコン	41,168,500
		T001		(空値)	
			(小計)		82,958,100

④集計値セル領域

集計結果を表示します。

集計値セル領域④で右クリックして表示されるコンテキストメニューから[ウィンドウ枠の固定]や[小計を非表示/表示]、[総合計の非表示/表示]などが行えます。

[表組み]アイコンをクリックすると、表組み画面に遷移します。

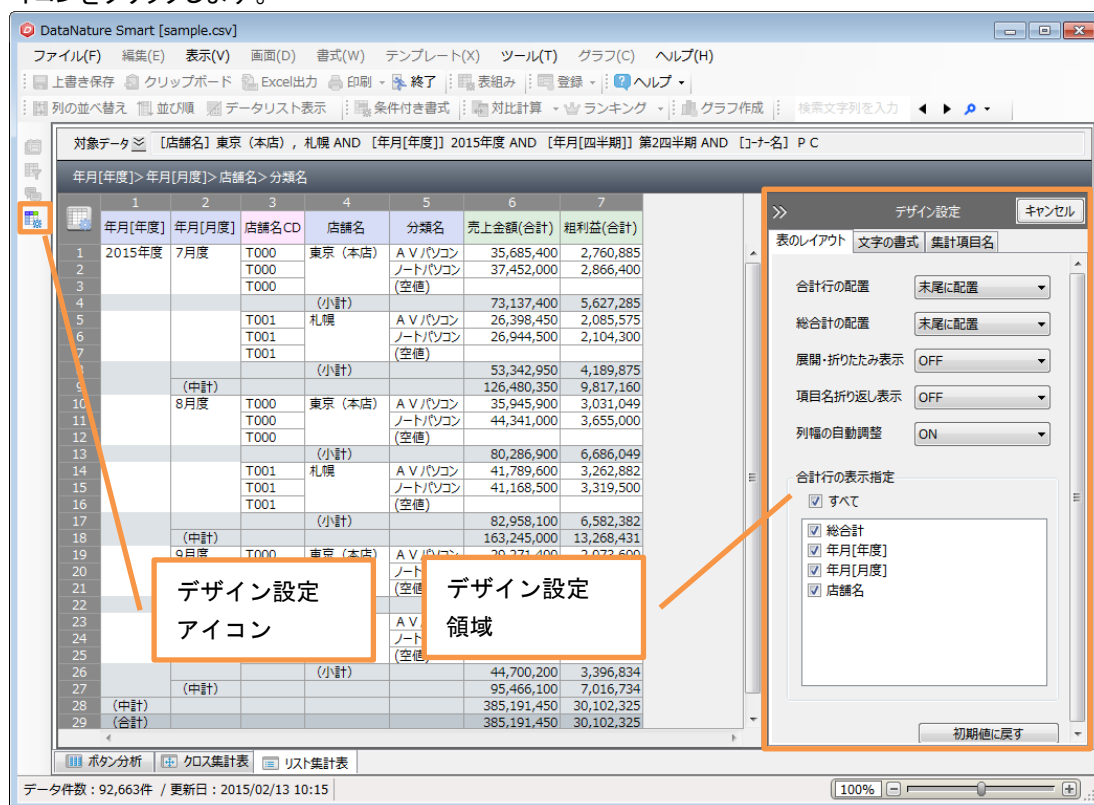
1	2	3	4	5	6
年月[年度]	年月[月度]	店舗名CD	店舗名	分類名	売上金額(合計)
2015年度	7月度	T000	東京 (本店)	A V/パソコン	35,685,400
		T000		ノート/パソコン	37,452,000
		T000		(空値)	
			(小計)		73,137,400
		T001	札幌	A V/パソコン	26,398,450
		T001		ノート/パソコン	26,944,500
		T001		(空値)	
			(小計)		53,342,950
		(中計)			126,480,350
	8月度	T000	東京 (本店)	A V/パソコン	35,945,900
		T000		ノート/パソコン	44,341,000
		T000		(空値)	
			(小計)		80,286,900
		T001	札幌	A V/パソコン	41,789,600
		T001		ノート/パソコン	41,168,500
		T001		(空値)	
			(小計)		82,958,100

集計表の「デザイン設定」について

メニューバー[表示]-[デザイン設定](または、ナビゲーションパネルの[デザイン設定]アイコン)をクリックすると、集計表のデザイン設定を行う領域が、画面右側に表示されます。リスト集計表のレイアウトや書式に関連する情報を、タブを切り替えて設定します。

なお、設定した内容を初期値に戻す場合は、各タブの下方にある[初期値に戻す]ボタンをクリックし、設定をやめる場合は、デザイン設定領域右上にある[キャンセル]ボタンをクリックします。

各設定を確定する場合は、デザイン設定領域左上にある[>>]ボタン、または、ナビゲーションパネルの[デザイン設定]アイコンをクリックします。



[表のレイアウト]タブ

合計行の表示や多段階集計時の展開・折りたたみ表示等を設定します。

- 合計行の配置 : 中計や小計の集計範囲に対して合計行を表示する位置を 2 種類(末尾に配置/先頭に配置)から選択します。
- 総合計の配置 : 総合計を表示する位置を 2 種類(末尾に配置/先頭に配置)から選択します。
- 展開・折りたたみ表示 : 分析項目が 2 項目以上ある集計表の場合に「ON」にすると、項目ごとに[-]アイコンが表示されます。[-]アイコンをクリックすると明細が折りたたまれて[+]アイコンになり、[+]アイコンをクリックすると明細が展開されるようになります。
- 項目名折り返し表示 : 列幅に合わせて、項目名称を折り返し表示するかどうかを ON/OFF で指定します。
- 列幅の自動調整 : 列幅を、その列で一番長い文字列に合わせて自動調整するかどうかを ON/OFF で指定します。
- 合計行の表示指定 : 小計・中計・総合計の表示/非表示を設定します。非表示にしたい項目はチェックオフしてください。なお、集計表の右クリックメニューでは、「小計を非表示/総合計を非表示」から設定可能です。

[文字の書式]タブ

集計表のフォントや背景色などを設定します。対象となる領域は分析項目データ/参照項目データ/集計項目データで、各領域に合わせて、フォント/サイズ/横配置/縦配置/文字の制御が設定できます。

[集計項目名]タブ

集計項目や合計欄に表示する名称を設定します。

- 集計項目一覧 : 集計項目の名称を設定します。表示名称欄に、表示したい内容を入力します。
- 合計の名称定義 : 小計・中計・総合計の名称を設定します。表記名称欄に、表示したい内容を入力します。空欄にした場合は「合計」と表示されます。また、引用欄をチェックオンすると、合計名称の前に、対象となるデータの名称を付与して表示されます。なお、総合計の「引用」は使用できません。

[対比計算]タブ

対比計算実行中に表示されます。対比表の集計項目名や配置切替の設定を行います。

- 対比対象名に固定名称を使用する : 「固定名称」欄に入力した名称を対比対象名として使用します。
- 対比対象名に集計項目名を使用する : 対比対象名の前に、「売上金額(合計)」などの集計項目名を付与します。なお、「集計項目との区切り文字」欄に入力した文字を、集計項目名と対比対象名の区切り文字として使用できます。空欄の場合は、「:」が使用されます。

「集計内訳表示」について

メニューバー[表示]-[集計内訳表示]-[限定表示]をクリックすると、集計表の明細行を小計(中計)ごとに表示します。([全項目表示]を選択した場合は、集計対象となっていない項目も表示されます。また、[解除]で元の集計に戻ります。)

1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5	6
店舗名	分類名	売上金額(合計)	店舗名	分類名	売上金額(合計)	年月	店舗名CD	店舗名	コーナー名	分類名	メーカー名
1 東京 (本店)	A Vパソコン	30,617,200	1 東京 (本店)	A Vパソコン	1,717,500	1 2015/04/05	T000	東京 (本店)	P C	A Vパソコン	S 電子工業
2	ノートパソコン	41,934,000	2 東京 (本店)	A Vパソコン	954,000	2 2015/04/15	T000	東京 (本店)	P C	A Vパソコン	T 電気
3	(空値)		3 東京 (本店)	A Vパソコン	1,578,800	3 2015/04/01	T000	東京 (本店)	P C	A Vパソコン	P 電子工業
4 (小計)		72,551,200	4 東京 (本店)	A Vパソコン	2,806,400	4 2015/04/02	T000	東京 (本店)	P C	A Vパソコン	P 電子工業
5 札幌	A Vパソコン	25,510,750	5 東京 (本店)	A Vパソコン	3,222,000	5 2015/04/10	T000	東京 (本店)	P C	A Vパソコン	A 電気
6	ノートパソコン	23,370,000	6 東京 (本店)	A Vパソコン	4,477,500	6 2015/04/08	T000	東京 (本店)	P C	A Vパソコン	A 電気
7	(空値)		7 東京 (本店)	A Vパソコン	2,688,000	7 2015/04/06	T000	東京 (本店)	P C	A Vパソコン	A 電気
8 (中計)		48,880,750	8 東京 (本店)	A Vパソコン	2,412,000	8 2015/04/02	T000	東京 (本店)	P C	A Vパソコン	A 電気
9 (合計)		121,431,950	9 東京 (本店)	A Vパソコン	7,152,000	9 2015/04/04	T000	東京 (本店)	P C	A Vパソコン	A 電気
			10 東京 (本店)	A Vパソコン	1,647,000	10 2015/04/04	T000	東京 (本店)	P C	A Vパソコン	E コンピュータ
			11 東京 (本店)	A Vパソコン	1,962,000	11 2015/04/01	T000	東京 (本店)	P C	A Vパソコン	G 電子
			12 (小計)		30,617,200	12				(小計)	
			13 東京 (本店)	ノートパソコン	1,791,000	13 2015/04/08	T000	東京 (本店)	P C	ノートパソコン	S 電子工業

▲限定表示

▲全項目表示

＜展開/折りたたみモードの場合＞表内の[+]アイコンをクリックして、任意の位置から明細行を表示できます。

1	2	3	1	2	3
店舗名	分類名	売上金額(合計)	店舗名	分類名	売上金額(合計)
1 東京 (本店)	A Vパソコン	30,617,200	1 東京 (本店)	A Vパソコン	30,617,200
2	ノートパソコン	41,934,000	2 東京 (本店)	ノートパソコン	1,791,000
3	(空値)		3 東京 (本店)	ノートパソコン	894,000
4 (中計)		72,551,200	4 東京 (本店)	ノートパソコン	1,614,000
5 札幌	A Vパソコン	25,510,750	5 東京 (本店)	ノートパソコン	5,796,000
6	ノートパソコン	23,370,000	6 東京 (本店)	ノートパソコン	3,105,000
7	(空値)		7 東京 (本店)	ノートパソコン	3,840,000
8 (中計)		48,880,750	8 東京 (本店)	ノートパソコン	7,087,500
9 (合計)		121,431,950	9 東京 (本店)	ノートパソコン	7,087,500
			10 東京 (本店)	ノートパソコン	2,242,500
			11 東京 (本店)	ノートパソコン	1,794,000
			12 東京 (本店)	ノートパソコン	2,458,500
			13 東京 (本店)	ノートパソコン	1,656,000
			14 東京 (本店)	ノートパソコン	1,188,000
			15 東京 (本店)	ノートパソコン	1,380,000
			16 (小計)		41,934,000
			17 (空値)		
			18 (中計)		72,551,200
			19 札幌	A Vパソコン	25,510,750
			20	ノートパソコン	23,370,000
			21	(空値)	
			22 (中計)		48,880,750
			23 (合計)		121,431,950



メニューバー[表示]-[集計内訳表示]-[全項目表示]を実行した場合は、集計対象になっていない項目も含め全ての項目で明細行を表示します。

◆ データリスト表の画面構成

対象のデータをレコード表示します。リスト集計表組み/リスト集計表/クロス集計表/ボタン分析からデータリストの表示が実行できます。また、このデータリストから項目を選択して集計することもできます。

1	2	3	4	5	6
年月	店舗名CD	店舗名	分類名	売上金額	粗利益
2015/01/28	T005	広島	5.1 c hスピーカー	67,200	12,480
2013/03/29	T004	名古屋	5.1 c hスピーカー	179,200	33,280
2015/01/31	T004	名古屋	5.1 c hスピーカー	123,200	22,880
2012/12/26	T004	名古屋	5.1 c hスピーカー	212,800	39,520
2012/11/28	T003	大阪	5.1 c hスピーカー	179,200	33,280
2015/01/21	T005	東京 (本店)	5.1 c hスピーカー	123,200	22,880
2014/10/30	T003	大阪	5.1 c hスピーカー	123,200	22,880
2016/03/24	T005	広島	5.1 c hスピーカー	134,400	24,960

①実行ボタン領域

②データ定義の日付形式を適用/対象データ表示領域

③表題領域

④列項目セル領域

⑤集計値セル領域

①実行ボタン領域

右図のように項目列No.を選択して、[集計を実行]ボタンをクリックすると集計が実行されます。Ctrl キーや Shift キーを押しながら複数選択することができます。なお、[オールクリア]ボタンをクリックすると青枠線を一括解除します。

1	2	3	4	5	6
年月	店舗名CD	店舗名	分類名	売上金額	粗利益
2015/01/28	T005	広島	5.1 c hスピーカー	67,200	12,480
2013/03/29	T004	名古屋	5.1 c hスピーカー	179,200	33,280
2015/01/31	T004	名古屋	5.1 c hスピーカー	123,200	22,880
2012/12/26	T004	名古屋	5.1 c hスピーカー	212,800	39,520
2012/11/28	T003	大阪	5.1 c hスピーカー	179,200	33,280

②データ定義の日付形式を適用/対象データ表示領域

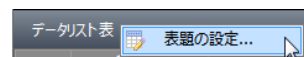
日付データをデータ定義画面で設定した表示形式で表示する場合に、チェックオンします。

対象データ表示領域には、集計対象データが表示されます。情報が多い場合は、 ボタンをクリックすることで表示領域が広がります。

③表題領域

表題が表示されます。この領域③で右クリックして表示される[表題の設定]ダイアログボックスで任意の表題を設定できます(メニューバー[書式]-[表題の設定])。

<今月><今日>といった定義をおこなうと、システム日付から該当日付に変換して表題に表示できます。



④列項目セル領域

列項目を表示します。

自動日付/時間項目は、集計を実行するとデータが表示されます。

列項目セル領域④で右クリックして表示されるコンテキストメニューから[ウィンドウ枠の固定]や[列幅標準/列幅自動調整]などが行えます。

1	2	3	4	5
年月	店舗名CD	店舗名	分類名	売上金額
2015/01/28	T005	広島	5.1 c hスピーカー	67,200
2013/03/29	T004	名古屋	5.1 c hスピーカー	179,200
2015/01/31	T004	名古屋	5.1 c hスピーカー	123,200
2012/12/26	T004	名古屋	5.1 c hスピーカー	212,800
2012/11/28	T003	大阪	5.1 c hスピーカー	179,200
2015/01/21	T005	東京 (本店)	5.1 c hスピーカー	123,200
2014/10/30	T003	大阪	5.1 c hスピーカー	123,200
2016/03/24	T005	広島	5.1 c hスピーカー	134,400
2011/12/25	T003	大阪	5.1 c hスピーカー	7,220
2012/12/30	T003	大阪	5.1 c hスピーカー	212,800
2015/02/28	T005	広島	5.1 c hスピーカー	151,620

⑤集計値セル領域

集計項目のデータをレコード表示します。

集計値セル領域⑤で右クリックして表示されるコンテキストメニューから[ウィンドウ枠の固定]や[書式設定]が行えます。

1	2	3	4	5
年月	店舗名CD	店舗名	分類名	売上金額
2015/01/28	T005	広島	5.1 c hスピーカー	67,200
2013/03/29	T004	名古屋	5.1 c hスピーカー	179,200
2015/01/31	T004	名古屋	5.1 c hスピーカー	123,200
2012/12/26	T004	名古屋	5.1 c hスピーカー	212,800

[表組み]アイコンをクリックすると、表組み画面に遷移します。

3-2 主な機能

リスト集計表画面で行える主な機能について紹介します。

デーセクター	集計対象データを絞り込むための簡易ボタン画面を設定し、選択したボタンで再集計します。また、条件式を設定し、集計表の対象レコードを絞り込むことができます。
条件集約*	任意の条件に一致するデータを集約して表示します。
対比計算*	データの対比が行えるように差異や比率を計算して表示します。
条件付き書式*	設定した条件に該当するセルを、指定した書式で強調表示します。
ランキング*	集計結果(集計値)を昇順または降順で並べたときの順位を、新たな数値項目列として表示します。
参照項目設定*	参照項目と分析項目を組み合わせ、同一セル内に複数の項目名を表示します。
印刷/出力	集計表を印刷、または、他のアプリケーションのファイルとして出力します。

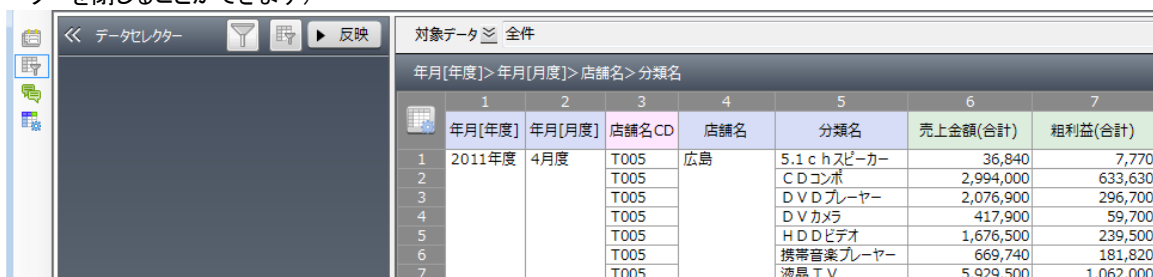
*この機能はデータリスト表では利用できません。

◆ データセクター

集計対象のデータを絞り込むための簡易ボタン画面や条件式を設定します。注目したいデータだけを絞り込み、再集計できます。

- ① ナビゲーションパネルにある[データセクター]アイコンをクリックします。

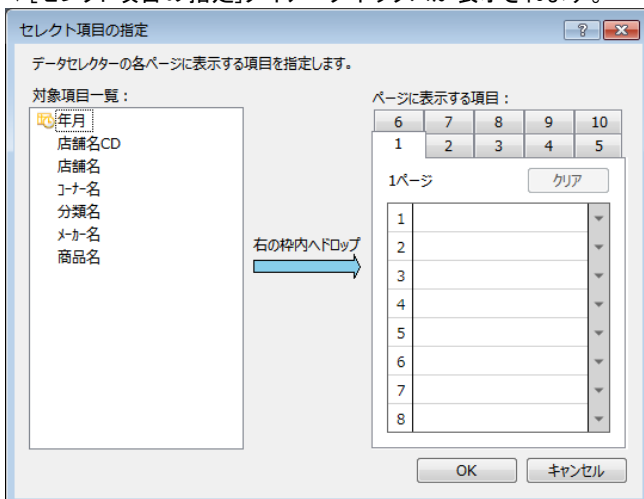
▼データセクター表示領域が表示されます。(再度、[データセクター]アイコンや[<<]ボタンをクリックするとデータセクターを閉じることができます)



年月[年度]> 年月[月度]		店舗名CD	店舗名	分類名	売上金額(合計)	粗利益(合計)
1	2011年度 4月度	T005	広島	5.1 c hスピーカー	36,840	7,770
2		T005		C Dコンボ	2,994,000	633,630
3		T005		D V Dプレーヤー	2,076,900	296,700
4		T005		D Vカメラ	417,900	59,700
5		T005		H D Dビデオ	1,676,500	239,500
6		T005		携帯音楽プレーヤー	669,740	181,820
7		T005		液晶TV	5,929,500	1,062,000

- ② データを絞り込むための対象とする項目列を設定するには、表示領域の上部にある[セレクト項目の指定]アイコンをクリックします。

▼[セレクト項目の指定]ダイアログボックスが表示されます。



セレクト項目の指定

データセクターの名ページに表示する項目を指定します。

対象項目一覧:

- 年月
- 店舗名CD
- 店舗名
- コーナー名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名

ページに表示する項目:

6	7	8	9	10
1	2	3	4	5

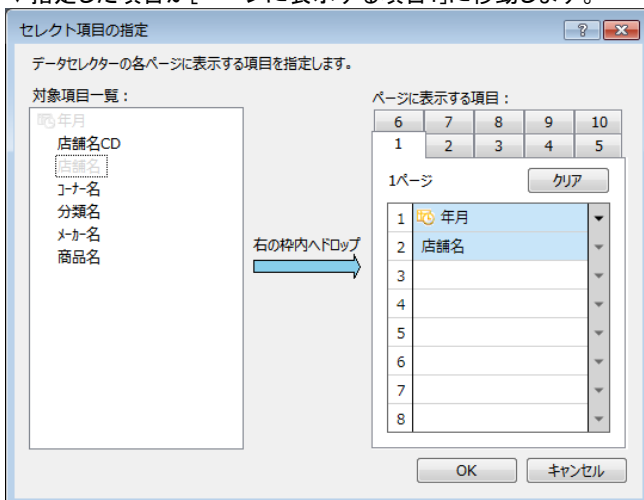
1ページ

右の枠内へドロップ

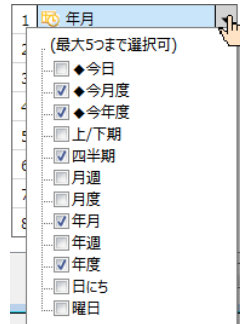
OK キャンセル

- ③ [対象項目一覧:]から、データの絞り込みに利用したい項目列を、[ページに表示する項目:]の枠内にドラッグ & ドロップで移動します。

▼指定した項目が[ページに表示する項目:]に移動します。



がついている日付/時間項目は、右端の[▼]ドロップダウンリストから、期間項目(今月度、上下期、曜日など)や時間の項目(AM/PM、時など)を追加表示できます。



[ページに表示する項目:]には1～10までのページタブがあり、タブを切り替えて設定が行えます。1ページに8項目、最大80項目(10ページ×8項目)まで設定できます。

- ④ 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼データセレクト表示領域にセレクト項目が表示されます。

データセレクト		対象データ 全件	
年月		年月[年度]> 年月[月]> 店舗名> 分類名	
前月 今月		1 2 3 4 5 6 7	
前年 今年		年月[年度] 年月[月] 店舗名CD 店舗名 分類名 売上金額(合計) 粗利益(合計)	
第1Q 第2Q 第3Q 第4Q		1 2011年度 4月度 T005 広島 5.1chスピーカー 36,840 7,770	
2011/04/01		2 T005 CDコンボ 2,994,000 633,630	
2011/04/02		3 T005 DVDプレーヤー 2,076,900 296,700	
2011/04/03		4 T005 DVカメラ 417,900 59,700	
2011/04/04		5 T005 HDDビデオ 1,676,500 239,500	
2011/04/05		6 T005 携帯音楽プレーヤー 669,740 181,820	
店舗名		7 T005 液晶TV 5,929,500 1,062,000	
広島		8 T005 プラズマTV 15,298,110 2,739,960	
名古屋		9 T005 ふとん乾燥機 597,450 128,025	
大阪		10 T005 エアコン(冷・暖房) 14,760,900 3,163,050	
東京(本店)		11 T005 エアコン(冷房) 55,205,500 11,829,750	
札幌		12 T005 除湿器 1,820,700 390,150	
		13 T005 AVパソコン 13,034,000 1,085,710	
		14 T005 ノートパソコン 11,409,500 863,300	
		15 T005 オープンレンジ 972,300 180,570	
		16 T005 電子レンジ 227,850 42,315	

- ⑤ 絞り込みたいデータ(ボタン)を選択します。[Ctrl]キーや[Shift]キーを押しながら選択すると、複数のボタンを同時に選択できます。 ※日付/時間型項目のデータは、[Shift]キーを利用した複数選択はできません。

データセレクト		対象データ 全件	
年月		年月[年度]> 年月[月]> 店舗名> 分類名	
前月 今月		1 2 3 4 5 6 7	
前年 今年		年月[年度] 年月[月] 店舗名CD 店舗名 分類名 売上金額(合計) 粗利益(合計)	
第1Q 第2Q 第3Q 第4Q		1 2011年度 4月度 T005 広島 5.1chスピーカー 36,840 7,770	
2015/07/01		2 T005 CDコンボ 2,994,000 633,630	
2015/07/02		3 T005 DVDプレーヤー 2,076,900 296,700	
2015/07/03		4 T005 DVカメラ 417,900 59,700	
2015/07/04		5 T005 HDDビデオ 1,676,500 239,500	
2015/07/05		6 T005 携帯音楽プレーヤー 669,740 181,820	
店舗名		7 T005 液晶TV 5,929,500 1,062,000	
広島		8 T005 プラズマTV 15,298,110 2,739,960	
名古屋		9 T005 ふとん乾燥機 597,450 128,025	
大阪		10 T005 エアコン(冷・暖房) 14,760,900 3,163,050	
東京(本店)		11 T005 エアコン(冷房) 55,205,500 11,829,750	
札幌		12 T005 除湿器 1,820,700 390,150	
		13 T005 AVパソコン 13,034,000 1,085,710	
		14 T005 ノートパソコン 11,409,500 863,300	
		15 T005 オープンレンジ 972,300 180,570	
		16 T005 電子レンジ 227,850 42,315	

6 [反映]ボタンをクリックします。

▼絞り込んだデータを対象に、再度集計処理が実行されます。

データセレクト 対データ ≡ [店舗名] 名古屋, 大阪 AND [年月] 2015年度 AND [年月[四半期]] 第2四半期

年月[年度] 年月[月] 店舗名 CD 分類名 売上金額(合計) 粗利益(合計)

1	2	3	4	5	6	7
年月[年度]	年月[月]	店舗名 CD	店舗名	分類名	売上金額(合計)	粗利益(合計)
2015年度	7月度	T004	名古屋	5.1 c hスピーカー	405,240	85,470
		T004		5.1 c hヘッドフォン	557,440	99,840
		T004		C Dコンボ	10,022,600	2,390,300
		T004		D V D プレーヤー	4,454,100	636,300
		T004		D V カメラ	621,600	88,800
		T004		H D D ビデオ	2,149,700	307,100
		T004		携帯音楽プレーヤー	2,646,760	724,150
		T004		液晶 T V	16,100,100	2,883,600
		T004		プラズマ T V	22,609,150	4,049,400
		T004		エアコン (冷・暖房)	11,881,100	2,545,950
		T004		エアコン (冷暖)	9,240,000	1,980,000
		T004		A V パソコン	18,665,300	1,555,711
		T004		ノートパソコン	22,974,500	1,881,500
		T004		オープンレンジ	3,560,200	661,180
		T004		電子レンジ	680,400	126,360
		T004		冷蔵庫	28,445,520	5,094,720

: 標準モード

: 排他モード

“排他”モードにすると、選択したデータ(ボタン)を除外して再集計します。

店舗名

広島
名古屋
大阪
東京 (本店)
札幌

1	2	3	4	5	6	7
年月[年度]	年月[月]	店舗名 CD	店舗名	分類名	売上金額(合計)	粗利益(合計)
2015年度	7月度		名古屋		165,366,520	26,781,041
			大阪		172,682,430	27,556,719
			(中計)		338,048,950	54,337,760
	8月度				490,309,430	79,589,884
	9月度				400,905,225	66,185,825
	(中計)				1,229,263,605	200,113,469
	(合計)				1,229,263,605	200,113,469

<展開/折りたたみモードでの表示例>



データセレクト領域上部にある[レコード条件の設定]アイコン をクリックすると、[レコード条件の設定]ダイアログボックスが表示され、集計表の対象レコードを条件式で絞り込むことができます。

▼[レコード条件の設定]ダイアログボックス

レコード条件の設定

☒ 条件にヒットするレコードを抽出

条件式:

数値項目(記号:名称): 入力

N1: 数量
N2: 売上金額
N3: 粗利益
N4: 予算額

日付項目(記号:名称): 入力

D1: 年月

例: ["売上金額"] ≥ 500万

= 7 8 9 / 千
≠ 4 5 6 * 万
< 1 2 3 - 百万
≤ 0 . + 億
> NULL %
≥ 年 今年 最新年
月 今月 最新月
日 今日 最新日
年度 今年度 最新年度 AND
月度 今月度 最新月度 OR

() OK キャンセル

「☐条件にヒットするレコードを抽出」をチェックオンすると、条件式が入力できるようになります。

条件式は、数値項目/日付項目/テンキー(各種演算子や定数等)を用いて設定します。

条件式設定後、[OK]ボタンをクリックすると、集計結果が条件に従って絞り込まれます。なお、レコード条件が実行されているときは、画面の左下に「レコード条件実行中」と赤字で表示されます。条件内容は、対象データ領域に表示されます。

ボタン分析	クロス集計表	リスト集計表
データ件数: 92,663件 / 更新日: 2015/02/13 10:15	レコード条件実行中	



▼	レコード条件の設定...
時計	セレクト項目の追加...
並び順	セレクト・データの並び順
構成要素	構成要素の設定
関連フィルタ	関連フィルタ
	検索条件に一致するデータを全て選択
選択クリア	選択クリア

データセクター表示領域内で右クリックするとコンテキストメニューが表示されます。

■レコード条件の設定	[レコード条件の設定]ダイアログボックスを表示します。
■セレクト項目の追加	[セレクト項目の指定]ダイアログボックスを表示します。
■セレクト・データの並び順	セレクト項目ごとに表示の並び順を設定できます。
■構成要素の設定	日付/時間型項目から追加セレクト項目を設定できます。手順③右欄と同様の設定です。
■関連フィルタ	ボタン選択したときの関連フィルタの動作（[関連なし]または[絞り込み]）を設定します。
■検索条件に一致するデータを全て選択	セレクト項目内の検索をしている場合に、検索結果に該当するデータボタンを、メニューを実行した項目内で一括選択します。（日付や時間の項目は除きます。）
■選択クリア	選択中のボタンを全て解除します。

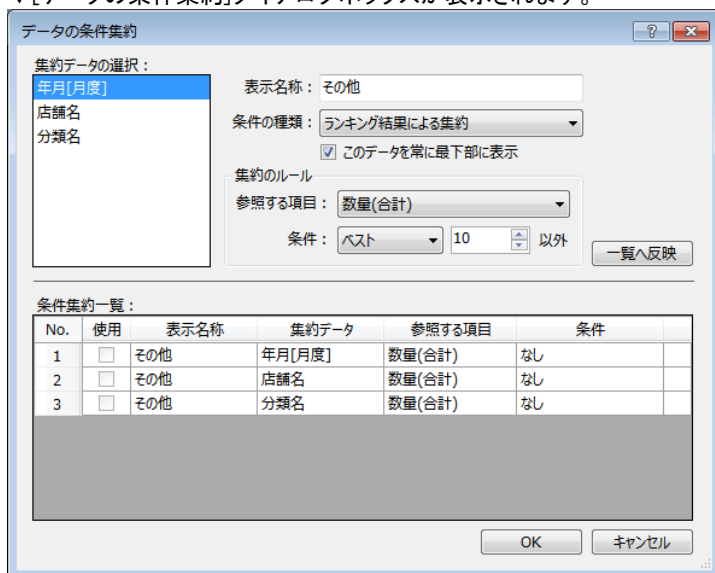


ボタン分析画面でデータボタンを選択してデータリスト表を作成した場合は、選択したデータボタンの項目をそのままデータセクター表示領域に再現して表示します。なお、関連モード（関連なし/絞り込み）と選択モード（標準/排他）もボタン分析画面から継承されます。

◆ 条件集約

任意の条件に一致するデータを集約します。例えば、集計された数値データ項目のランキング結果に対してベスト10以外の項目をまとめて表示することができます。

- 1  [条件集約]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[データの条件集約])
▼[データの条件集約]ダイアログボックスが表示されます。



データの条件集約

集約データの選択:

- 年月[月度]
- 店舗名
- 分類名

表示名称: その他

条件の種類: ランキング結果による集約

☒ このデータを常に最下部に表示

集約のルール

参照する項目: 数量(合計)

条件: ベスト 10 以外

一覧へ反映

条件集約一覧:

No.	使用	表示名称	集約データ	参照する項目	条件
1	☐	その他	年月[月度]	数量(合計)	なし
2	☐	その他	店舗名	数量(合計)	なし
3	☐	その他	分類名	数量(合計)	なし

OK キャンセル

- 2 [集計データの選択:]欄から、条件集約させたい分析項目列を選択します。
- 3 続いて、集約条件の種類やルールを指定します。

■表示名称:

条件集約されたデータ項目の名称を入力します。

■条件の種類:

条件の種類(ランキング結果による集約/数値条件による集約)をプルダウンリストから選択します。

また「☐このデータを常に最下部に表示」をチェックオンすると、条件集約されたデータは最下部に表示されます。

■集約のルール

集約のルール(数値データ項目/集計方法/集約条件)を指定します。

- 4 設定後、[一覧へ反映]ボタンをクリックします。

▼[条件集約一覧:]欄に設定内容が表示されます。

条件集約一覧:

No.	使用	表示名称	集約データ	参照する項目	条件
1	☐	その他	年月[月度]	数量(合計)	なし
2	☐	その他	店舗名	数量(合計)	なし
3	☒	その他	分類名	数量(合計)	ベスト 5以外

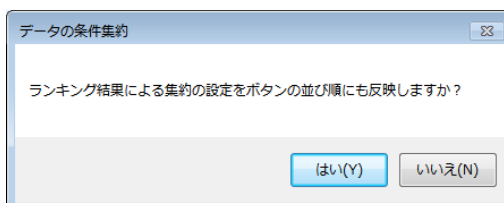
- 5 表示を確認したら、[OK]ボタンをクリックします。

▼設定した条件に該当するデータがまとめられます。

	1	2	3	4
	年月[月度]	店舗名	分類名	数量(合計)
1	4月度	広島	ヘアアレンジ	1,067
2			冷蔵庫	927
3			ヘアードライ	810
4			エアコン (冷房)	607
5			プラズマTV	585
6			その他	4,915
7		(小計)		8,911
8		名古屋	冷蔵庫	959
9			プラズマTV	621
10			ヘアアレンジ	604
11			除湿器	560
12			ヘアードライ	555
13			その他	6,372
14		(小計)		9,671



「ランキング結果による集約」を行う場合、メッセージが表示されます。[はい]をクリックすると、自動的にランキング結果(数値データ順)に合わせてデータを並び替えて表示します。



データの条件集約

ランキング結果による集約の設定をボタンの並び順にも反映しますか?

はい(Y) いいえ(N)

◆ 対比計算

表示中の集計表を基に、指定した対比方法で差異や比率等を計算して表示します。対比計算の設定は、設定ダイアログボックスと対比計算専用のデータセクターを組み合わせて行います。

- ① [対比計算]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[対比計算]-[設定])

▼[対比計算の設定]ダイアログボックスが表示されます。

対比計算の設定

対比方法: 二項目対比 対比方法の出力イメージは、ヘルプを参照してください。

対象データ

- 年月
- 店舗名CD
- 店舗名
- テナ名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名
- 年月[年度]
- 年月[半期]
- 年月[四半期]
- 年月[月度]

集計項目一覧

No.	集計項目	基準値	対照値	差異	対比率	増減率
1	数量(合計)	☒	☒	☐	☒	☐
2	売上金額(合計)	☒	☒	☐	☒	☐
3	粗利益(合計)	☒	☒	☐	☒	☐

比率の書式

有効桁数: 小数点以下 1 桁

マイナス表示: 特殊表示なし

☐ 対比で「今年」が指定された場合は、前月までを集計範囲とする

対比計算を実行 OK キャンセル

- ② [対比方法:]の[▼]ドロップダウンリストから、対比方法を選択します。

対比方法	対比対象	データセクターで指定するボタン	対比されるデータ
二項目対比	同一項目内の任意の 2 データ	任意の 2 データ	指定データのレコード、自動日付列、自動時間列
対前年	前年度と今年度	今年度の年	年度のレコード
対前期	前期と今期	今年度の期間	期間(半期、四半期)のレコード
対前月	前月度と今月度	今年度の月	月度のレコード
対前週	前週と今週	今週(年と週)	週(年)のレコード
対前日	前日と今日	今日(年、月、日)	日のレコード
対前年同期	前年度と今年度	年度と期間	期間(半期、四半期)のレコード
対前年同期	前年と今年	年と週(年)	週(年)のレコード
対前月同週	前月と今月	年、月と週(月)	週(月)のレコード
対前年(同日まで)	前年度と今年度	今日(年、月、日)	年度開始日から指定日までのレコード
対前年同月(同日まで)	前年と今年		1 日から指定日までのレコード
対前月(同日まで)	前月と今月		指定日が属する半期の開始日から指定日までのレコード
対前年同期(半期)(同日まで)	前年度と今年度		指定日が属する四半期の開始日から指定日までのレコード
対前年同期(四半期)(同日まで)			

- ③ [対象データ]欄から、対比計算の対象にする項目をひとつ選択します。

- ④ [集計項目一覧]の集計項目毎に、基準値・対照値・差異・対比率・増減率を表示するかどうか、指定します。表示する場合は、チェックオンします。

集計項目一覧

No.	集計項目	基準値	対照値	差異	対比率	増減率
1	数量(合計)	☒	☒	☐	☒	☐
2	売上金額(合計)	☒	☒	☐	☒	☐
3	粗利益(合計)	☒	☒	☐	☒	☐

- 差異 : 対照値-基準値
- 対比率: 対照値÷基準値
- 増減率: 差異÷基準値

- 5 必要に応じて、対比率・増減率に適用される[比率の書式]を設定します。

比率の書式

有効桁数: 小数点以下 1 桁

マイナス表示: 特殊表示なし

- 有効桁数: 小数点以下 1 桁～5 桁を選択します。集計表に“%”が表示されます。
- マイナス表示: 計算結果がマイナスの場合の書式を選択します。



基準値・対照値・差異の書式は、集計項目表示領域で右クリックして表示されるコンテキストメニューの[書式設定]-[数値の表示書式]から設定します。

- 6 対比対象に月日を含む場合で、「□対比で「今月」が指定された場合は、前月までを集計範囲とする」時はチェックオンします。

- 7 [対比計算を実行]ボタンをクリックします。

▼「データセクターで対比させる対象データを選択してください。」のメッセージが表示されます。そのまま[OK]ボタンをクリックします。

- 8 データセクターから、対象データを指定して、[反映]ボタンをクリックします。
- ◆二項目対比の場合: 対象データの選択順で基準値→対照値の指定となります。
 - ◆二項目対比以外の場合: 対照値となる対象データのみ指定します。

▼対比計算の集計表が実行されます。

データセクター		対象データ 全件	
対前年		店舗名>メーカ名	
前年	今年	1	2
2011年	2012年	店舗名	メーカ名
2013年	2014年	3	4
2015年		数量(合計):**	売上金額(合計):**
		5	粗利益(合計):**
		1	広島 M電気
		2	0,861,050
		3	8,860,180
		4	8,799,640
		5	5,519,160
		6	1,428,600
		7	4,016,655
		8	0,966,440
		9	0,909,500
		10	8,301,750
		11	8,770,000
		12	5,270,000
		13	4,507,500
		14	R電子工業 (空値)
		15	627
			33,944,880
			6,079,680



表示されるデータセクター(ページ 0)は、対比計算専用のデータセクターです。対比方法に応じて表示内容が異なります。通常のデータセクター(P.1～P.10)と対比計算用を併用することができます。

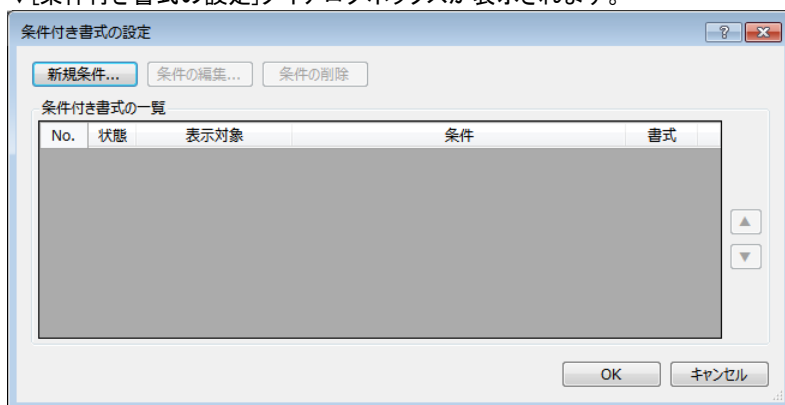


対比計算された集計表を解除する場合は、対比計算アイコンをクリックします。(メニューバー[ツール]-[対比計算]-[解除])

◆ 条件付き書式

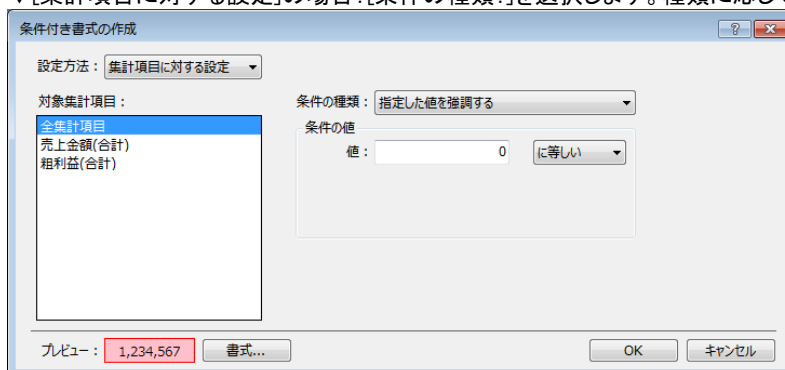
設定した条件に該当するセルを、指定した書式で強調表示します。

- 1  [条件付き書式]アイコンをクリックします。
(メニューバー[書式]-[条件付き書式の設定])
▼[条件付き書式の設定]ダイアログボックスが表示されます。

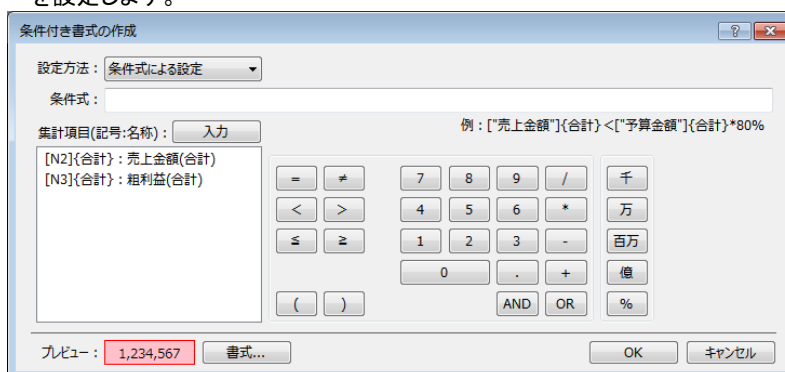


- 2 [新規条件]ボタンをクリックします。

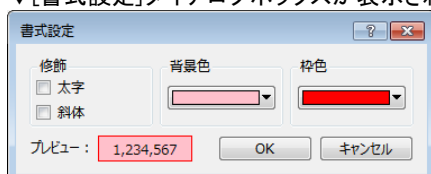
- 3 [設定方法:]から、[集計項目に対する設定]か[条件式による設定]を選択します。
▼[集計項目に対する設定]の場合:[条件の種類:]を選択します。種類に応じて[条件の値]を設定します。



- ▼[条件式による設定]の場合: 集計項目に対して、四則演算子/優先演算子(括弧)/テンキーを利用して任意に条件式を設定します。



- 4 [書式]ボタンをクリックします。
▼[書式設定]ダイアログボックスが表示されます。



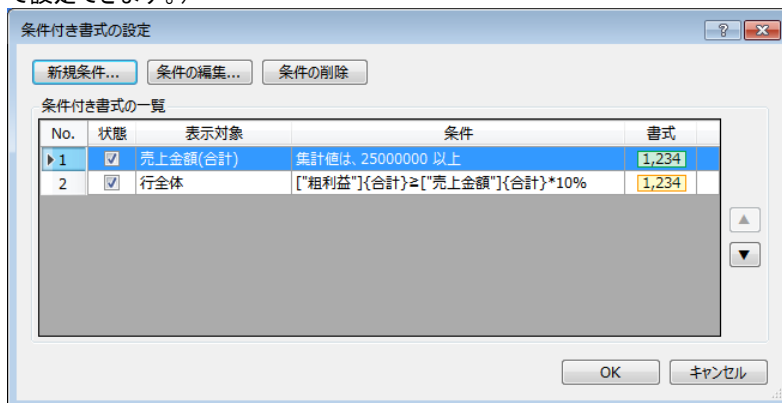
- 5 文字列の修飾・背景色・枠色を設定して、[OK]ボタンをクリックします。

▼[プレビュー:]に設定した書式が表示されます。

プレビュー: 1,234,567 書式... OK キャンセル

- 6 プレビュー確認後、[OK]ボタンをクリックします。

▼[条件付き書式の設定]ダイアログボックスに戻り、[条件付き書式の一覧]に設定した条件が表示されます。(最大 64 個まで設定できます。)



- 7 [状態]欄のチェックボックスを確認します。チェックオンされている条件を集計表に反映します。確認後、[OK]ボタンをクリックします。

▼書式が反映された集計表が表示されます。

	1	2	3	4	5	6	7
	年月[年度]	年月[月度]	店舗名CD	店舗名	分類名	売上金額(合計)	粗利益(合計)
1	2015年度	4月度	T005	広島	A V パソコン	16,643,800	1,348,041
2			T005		ノートパソコン	20,041,000	1,418,200
3			T005		(空値)		
4				(小計)		36,684,800	2,766,241
5			T004	名古屋	A V パソコン	22,328,300	1,784,148
6			T004		ノートパソコン	21,693,500	1,641,700
7			T004		(空値)		
8				(小計)		44,021,800	3,425,848
9		(中計)				80,706,600	6,192,089
10		5月度	T005	広島	A V パソコン	28,286,200	2,206,604
11			T005		ノートパソコン	22,563,000	1,781,800
12			T005		(空値)		
13				(小計)		50,849,200	3,988,404
14			T004	名古屋	A V パソコン	22,963,800	1,929,375
15			T004		ノートパソコン	30,174,000	2,482,600
16			T004		(空値)		
17				(小計)		53,137,800	4,411,975
18		(中計)				103,987,000	8,400,379
19	(中計)					184,693,600	14,592,468
20	(合計)					184,693,600	14,592,468



[集計項目に対する設定]の場合、指定した集計項目の集計値セルのみを強調表示します。[条件式による設定]の場合は、強調表示の対象は行/列を単位とし、単一の集計項目のみを使った条件式でも、指定された集計項目の集計値セルのみを強調することはしません。



同一セルに複数の条件が合致した場合、[条件付き書式の一覧]の上から順に優先して適用されます。一覧表の並び順は右横の[▲][▼]ボタンで変更できます。



[条件付き書式の設定]ダイアログボックスで、[条件付き書式の一覧]から選択している条件に対して[条件の編集]や[条件の削除]が行えます。

◆ ランキング(順位)

集計表の集計結果(集計値)を昇順または降順で並べた場合のランキング(順位)を、新たな数値項目列として表示します。

- 1  [ランキング]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[ランキング]-[設定])
▼[ランキングの設定]ダイアログボックスが表示されます。



- 2 順位を表示させたい集計値のチェックボックスをチェックオンします。
- 3 チェックオンした集計値の[条件]欄の[▼]ドロップダウンリストから順位付けのルールを指定し、表示方法を指定します。



条件は、大きい値が1位/小さい値が1位から指定できます。

- 4 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼新たにできた<*** (順位)>という集計項目に順位が表示されます。

	1	2	3	4	5	6	7	8
	年月[年度]	年月[月度]	店舗名CD	店舗名	分類名	売上金額(順位)	売上金額(合計)	粗利益(合計)
1	2015年度	4月度	T005	広島	S.1 c hスピーカー	26	92,100	19,425
2			T005		C Dコンボ	8	6,130,000	1,471,960
3			T005		D V D プレーヤー	9	4,022,900	574,700
4			T005		D Vカメラ	22	648,900	92,700
5			T005		H D Dビデオ	13	2,387,000	341,000
6			T005		携帯音楽プレーヤー	16	1,977,800	542,540
7			T005		液晶TV	6	16,696,400	2,990,400
8			T005		プラズマTV	3	23,537,100	4,215,600
9			T005		ふとん乾燥機	18	924,700	198,150
10			T005		エアコン (冷・暖房)	2	24,917,200	5,339,400
11			T005		エアコン (冷暖)	4	22,200,500	4,757,250



順位表示後に、データの並び順を数値データ順にすると順位が見やすくなります。



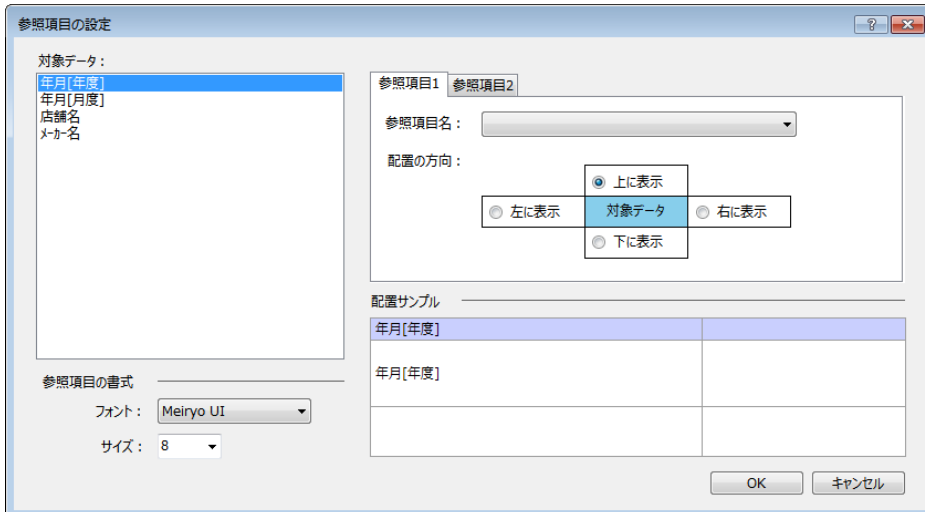
ランキングの表示を解除する場合は、[ランキング]アイコンの[▼]ドロップダウンリストから[解除]をクリックします。(メニューバー[ツール]-[ランキング]-[解除])

◆ 参照項目設定

データ定義画面で設定した参照項目や分析項目を組み合わせ、同一セル内に複数の項目名を表示します。

- ①  [参照項目の設定]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[参照項目の設定])
※[参照項目の設定]アイコンがツールバーにないときには、「C00-00_4 ◆ツールバーのカスタマイズ」を参照してください。

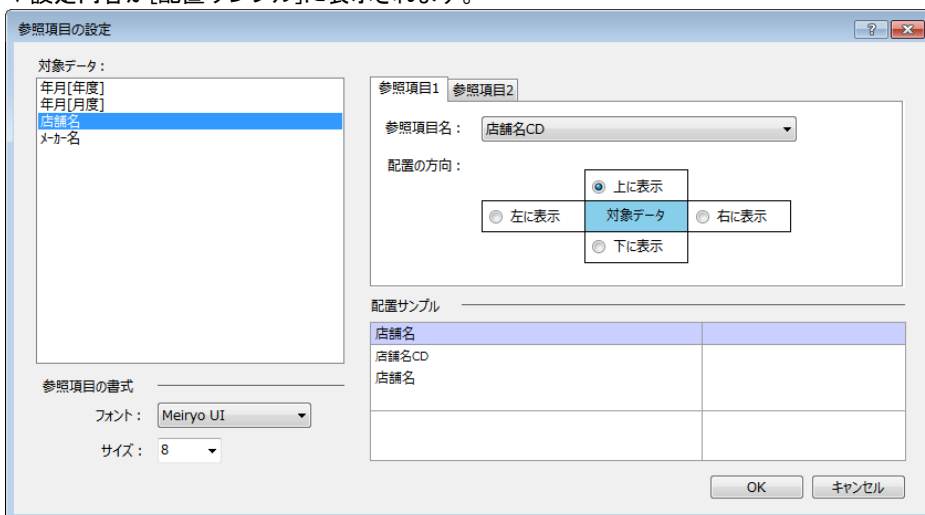
▼[参照項目の設定]ダイアログボックスが表示されます。




参照項目として設定できるのは、データ定義画面で[参照項目]または[分析項目]として設定された項目で、かつ、リスト集計表の構成要素になっていない項目です。

- ② [対象データ:]欄で、参照項目を付与したい分析項目を選択します。
- ③ [参照項目名:]欄で、対象データと関連付けたい項目を、[▼]のドロップダウンリストから選択します。
- ④ 対象データと参照項目の配置を指定します。

▼設定内容が[配置サンプル]に表示されます。



- ⑤ 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼参照項目と分析項目がセル内に表示されました。

	1	2	3	4	5	6
	年月[年度]	年月[月度]	店舗名	メーカー名	売上金額(合計)	粗利益(合計)
1	2015年度	4月度	T005	M電気	42,353,090	8,142,645
2			広島	A電気	29,076,920	2,808,640
3				T電気	36,347,190	6,813,450
4				N電子工業	2,226,400	564,280
5				P電子工業	6,354,100	1,009,801
6				D電機	34,207,855	6,291,000
7				H電機	26,074,640	4,836,030



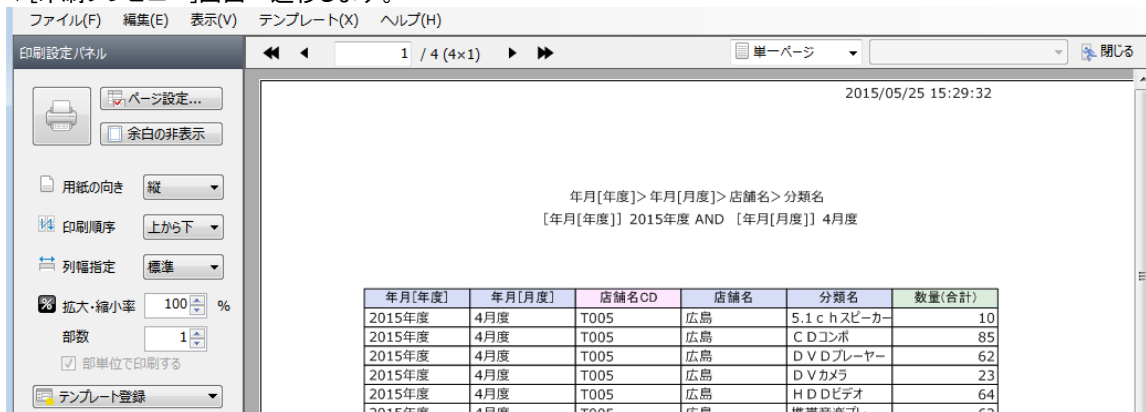
参照項目の表示を解除する場合は、[参照項目の設定]ダイアログボックスで、[対象データ:]欄の[▼]ドロップダウンリストから空欄(未定義)を選択して[OK]ボタンをクリックします。

◆ 印刷/データ出力

作成したリスト集計表を印刷、または他のアプリケーションファイルに出力することができます。
ここでは印刷と Excel 出力の手順を紹介します。

- ① [印刷]アイコンの[▼]ドロップダウンリストから[プレビュー]をクリックします。
(メニューバー[ファイル]-[印刷]-[プレビュー])

▼[印刷プレビュー]画面へ遷移します。



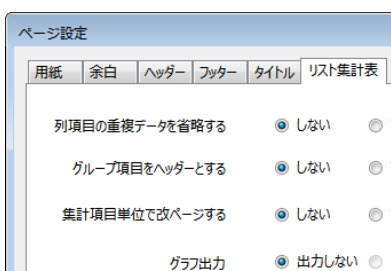
集計表画面で表示している集計表がそのまま印刷対象となります。また、印刷されるフォントや罫線等のデザインも集計表と同じになります。なお、グラフが全画面表示になっている場合は、グラフをプレビュー表示します。

- ② 左端の[印刷設定パネル]に主な印刷の設定項目をまとめています。



[印刷実行]ボタン	印刷を実行します。
[ページ設定]ボタン	印刷設定の詳細を設定します。(下表参照)
[余白の表示/非表示]ボタン	余白の表示/非表示を切り替えます。[余白表示]で表示される余白線を利用して列幅を任意に調整できます。
用紙の向き	縦/横を指定します。
印刷順序	上から下/左から右を指定します。
列幅指定	標準/自動/任意を指定します。
拡大・縮小率	25%~400%で指定します。
[テンプレート登録]ボタン	印刷/PDFでテンプレートを登録します。

[印刷設定パネル]以外の詳細設定は、[ページ設定]ボタンをクリックして表示される[ページ設定]ダイアログボックスの各タブを切り替えながら設定します。



用紙	用紙の向き・印刷順序・拡大・縮小率印刷・センタリングの設定
余白	上下左右の余白・タイトル行の高さの設定
ヘッダー	ヘッダーを出力するページの指定・配置やフォントの設定
フッター	フッターを出力するページの指定・配置やフォントの設定
タイトル	主題、副題の指定・配置やフォントや表示方法の設定
リスト集計表	列項目の重複データの省略する・グループ項目をヘッダーとする・集計項目単位で改ページする、についてのしない/するの指定やグラフの出力指定

- 3  [印刷実行]ボタンをクリックして、印刷を開始します。
- 4 印刷設定の内容をテンプレートに登録する場合は、[テンプレート登録]ボタンをクリックし、[印刷]もしくは[PDF]を指定して登録します。
- 5 [閉じる]アイコンをクリックして、印刷プレビュー画面を閉じます。

▼集計表画面に戻ります。

	1	2	3	4	5	6	7	8
	年月[年度]	年月[月度]	店舗名CD	店舗名	分類名	数量(合計)	売上金額(合計)	粗利益(合計)
1	2015年度	4月度	T005	広島	5.1 c hスピーカー	10	92,100	19,425
2			T005		C Dコンボ	85	6,130,000	1,471,960
3			T005		D V Dプレーヤー	62	4,022,900	574,700
4			T005		D Vカメラ	23	648,900	92,700
5			T005		H D Dビデオ	64	2,387,000	341,000



登録された印刷や PDF 出力のテンプレートを実行すると、[印刷プレビュー]画面ではなく、[印刷]ダイアログボックスや[PDF ファイル出力]ダイアログボックスが表示され、印刷実行や PDF ファイルの保存が行えます。

- 6  続いて、[Excel 出力]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[Excel ファイル])

▼[Excel ファイル出力]ダイアログボックスが表示されます。

出力ファイル	保存先フォルダーとファイル名を入力します。
出力対象の指定	[○Excel テンプレートを使用する]を指定した場合は、適用する Excel テンプレートファイルを指定します。(事前に作成が必要です)
Excel 出力データの開始位置	空欄の場合は「A1」セルが開始位置になります。
列項目の重複データを省略する	省略する場合はチェックオンします。
付加情報	表示させたい情報にチェックオンします。

- 7 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼確認メッセージが表示されます。

- 8 [はい]ボタンをクリックします。

▼Excel ファイルが表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
	年月[年度]	年月[月度]	店舗名CD	店舗名	分類名	数量(合計)	売上金額(合計)	粗利益(合計)
1	2015年度	4月度	T005	広島	5.1 c hスピーカー	10	92,100	19,425
2			T005		C Dコンボ	85	6,130,000	1,471,960
3			T005		D V Dプレーヤー	62	4,022,900	574,700
4			T005		D Vカメラ	23	648,900	92,700
5			T005		H D Dビデオ	64	2,387,000	341,000
6			T005		携帯音楽プレーヤー	62	1,977,800	542,540
7			T005		液晶 T V	40	16,696,400	2,990,400
8			T005		プラズマ T V	141	23,537,100	4,215,600
9			T005		ふとん乾燥機	70	924,700	198,150
10			T005		エアコン (冷・暖房)	149	24,917,200	5,339,400
11			T005		エアコン (冷暖)	125	22,200,500	4,757,250
12			T005		除湿器	68	2,203,600	472,200
13								



データ出力には[Excel ファイル出力]以外に、[クリップボード出力]、[テキストファイル出力]、[HTML ファイル出力]、[PDF ファイル出力]があります。
(メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[クリップボード]/[***ファイル])



メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[出力オプション]で表示される[データ出力オプション]ダイアログボックスでは、ファイルの種類毎に出力範囲や付加情報、外部アプリケーションとの連携用オプション等を設定することができます。
また、[データ出力ダイアログの設定値]でチェックオンしている状態が、各データ出力のダイアログボックスに反映されます。

データ出力ダイアログの設定値

- ☒ 前回の出力時に設定した内容を利用する
- ☐ このダイアログで設定した内容を利用する